

「高齢者福祉研究会」の開催状況について

自治体では2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて動き始めています。地域包括ケアシステムは、自治体が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要であることから、当研究所では、2017年度から「高齢者福祉研究会」（主査：横山純一・北海学園大学教授）を設置し、調査・研究を行っています。本研究会の2017年度の活動は以下のとおりです。

(1) 第1回研究会

- 日時 2017年7月13日（木）
- 会場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内容
講演「地域包括ケアと自治体」
講師：横山純一 氏（北海学園大学法学部教授／当研究所理事）

(2) 第2回研究会

- 日時 2017年11月28日（火）
- 会場 北海道自治労会館 4F 第5会議室
- 講演「地域で安心して老いるために」
講師：岩淵雅子 氏（釧路地区障害老人を支える会会長）
→ 所報2018年4月号（第591号）に記録掲載予定

(3) 第3回研究会

- 日時 2018年3月20日（火）
- 会場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内容
 - ・ 問題提起「在宅福祉と地域包括ケアをどう展望するのか」
講師：横山純一 氏（北海学園大学法学部教授／当研究所理事）
 - ・ 講演「地域包括ケアの研究サーベイと地域ケア会議の現状」
講師：藤井智子 氏（旭川医科大学看護学科教授）
→ 所報2018年6月号（第593号）に記録掲載予定

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上